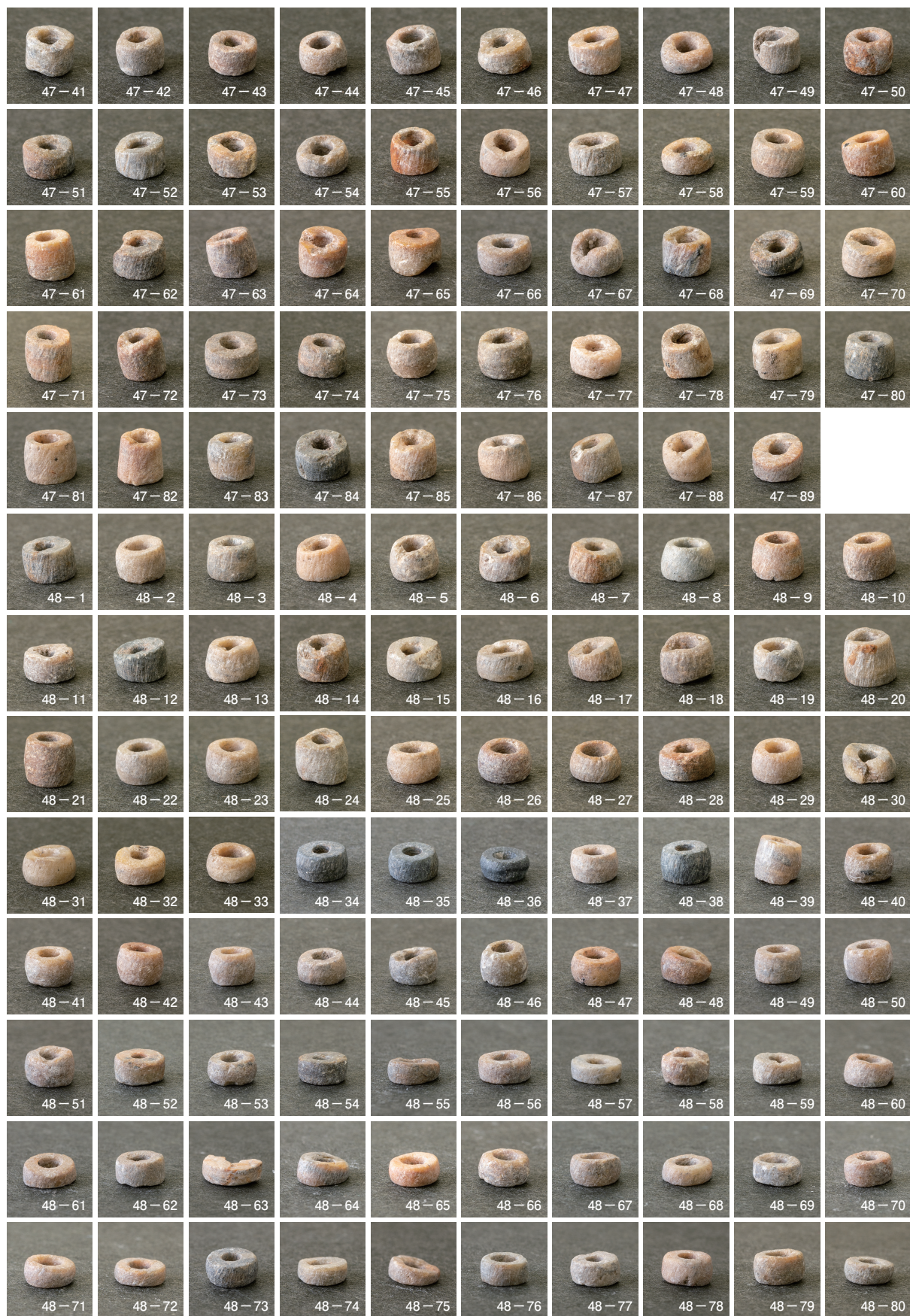
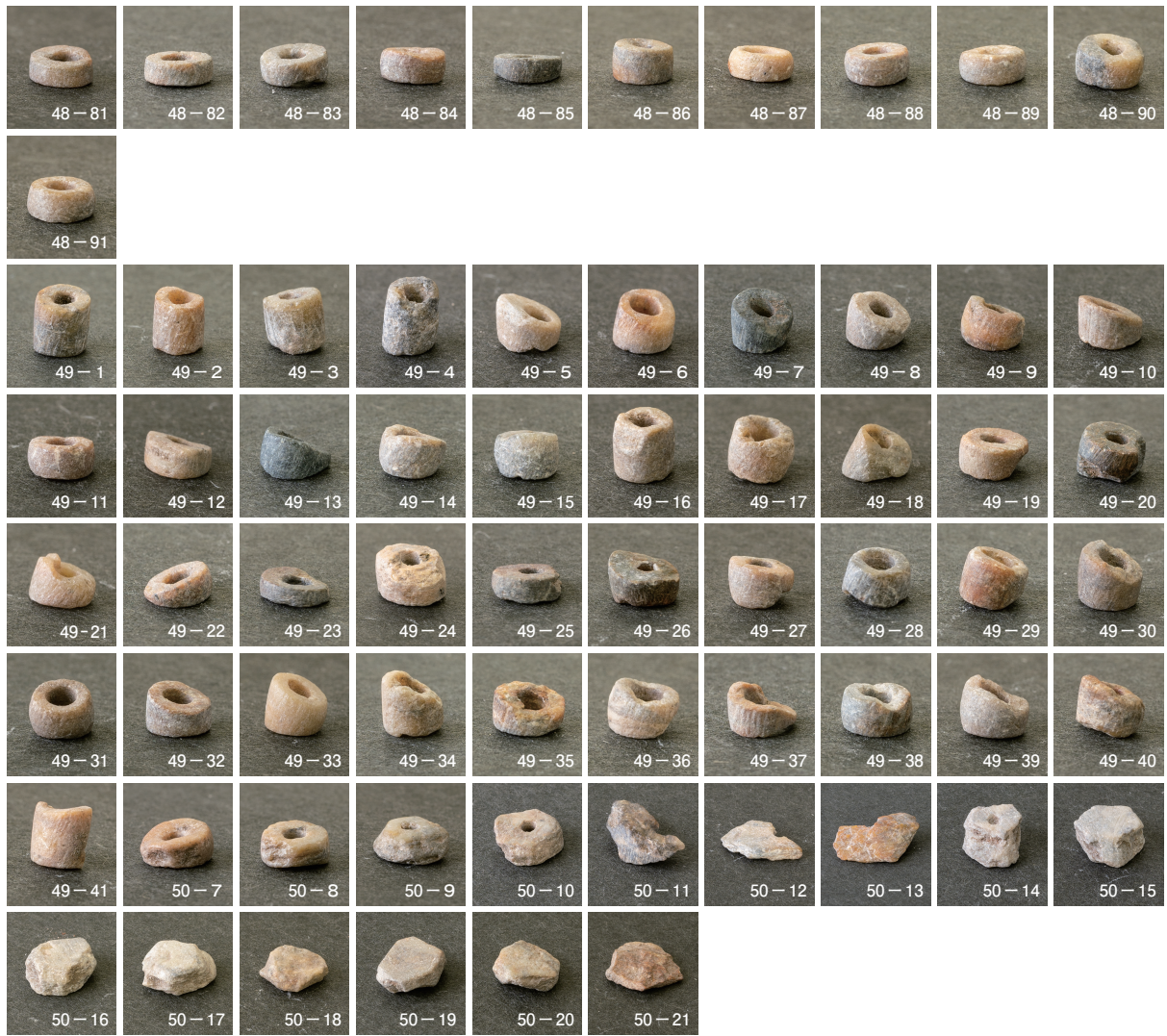


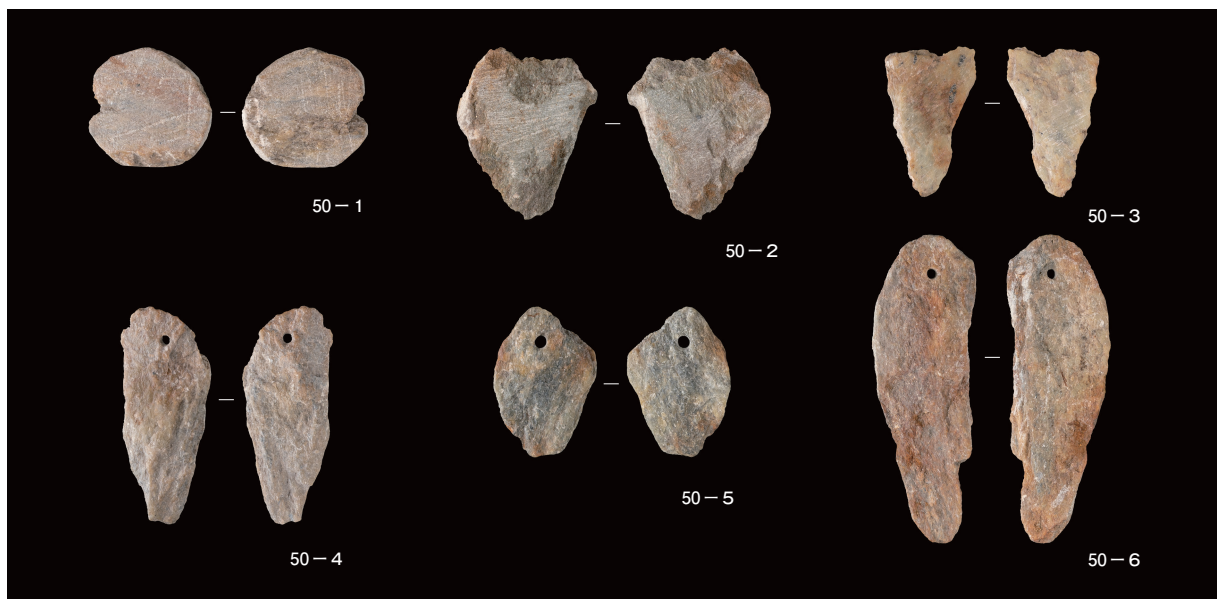
74 4号流路跡出土白玉 (1)



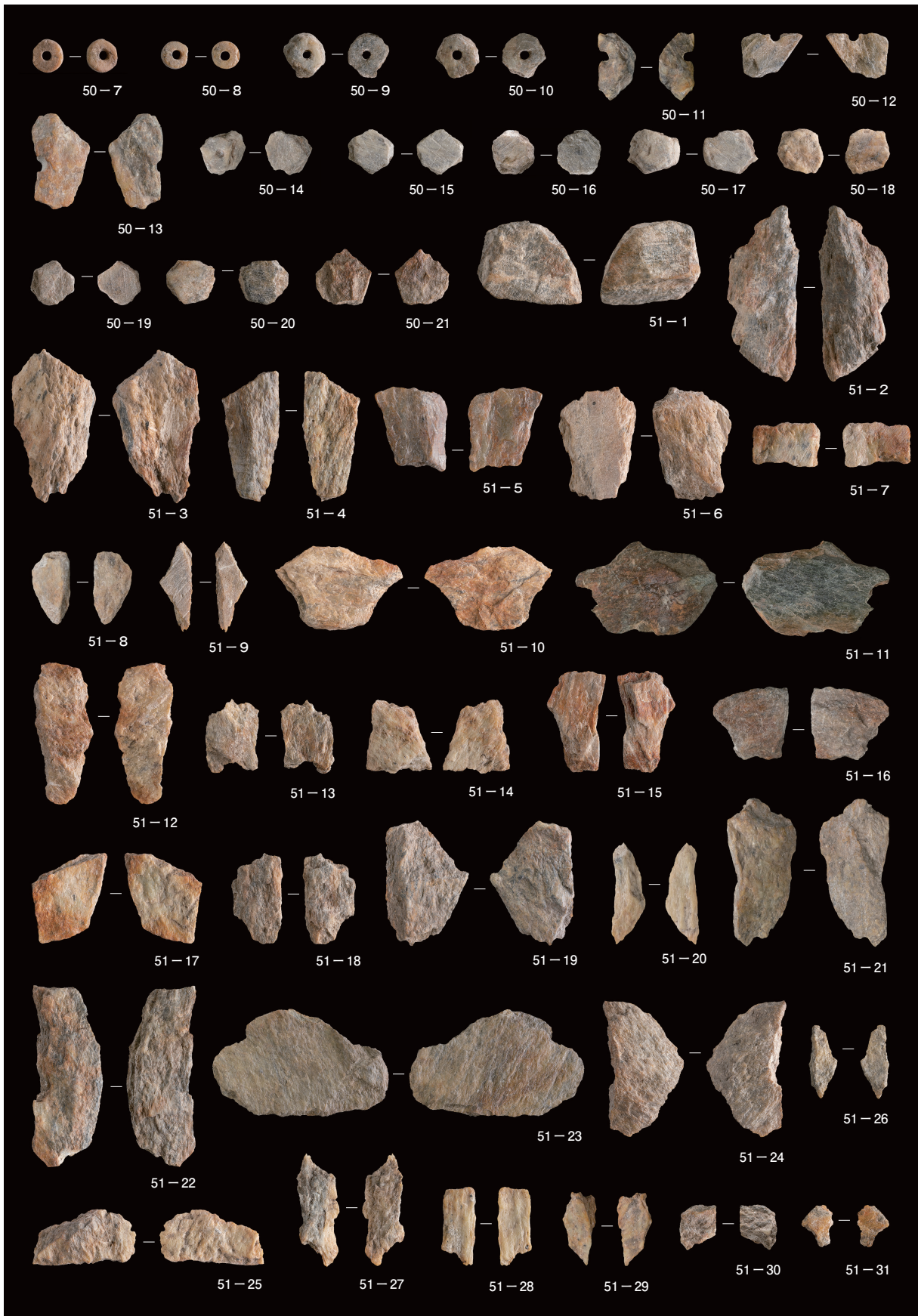
75 4号流路迹出土白玉(2)



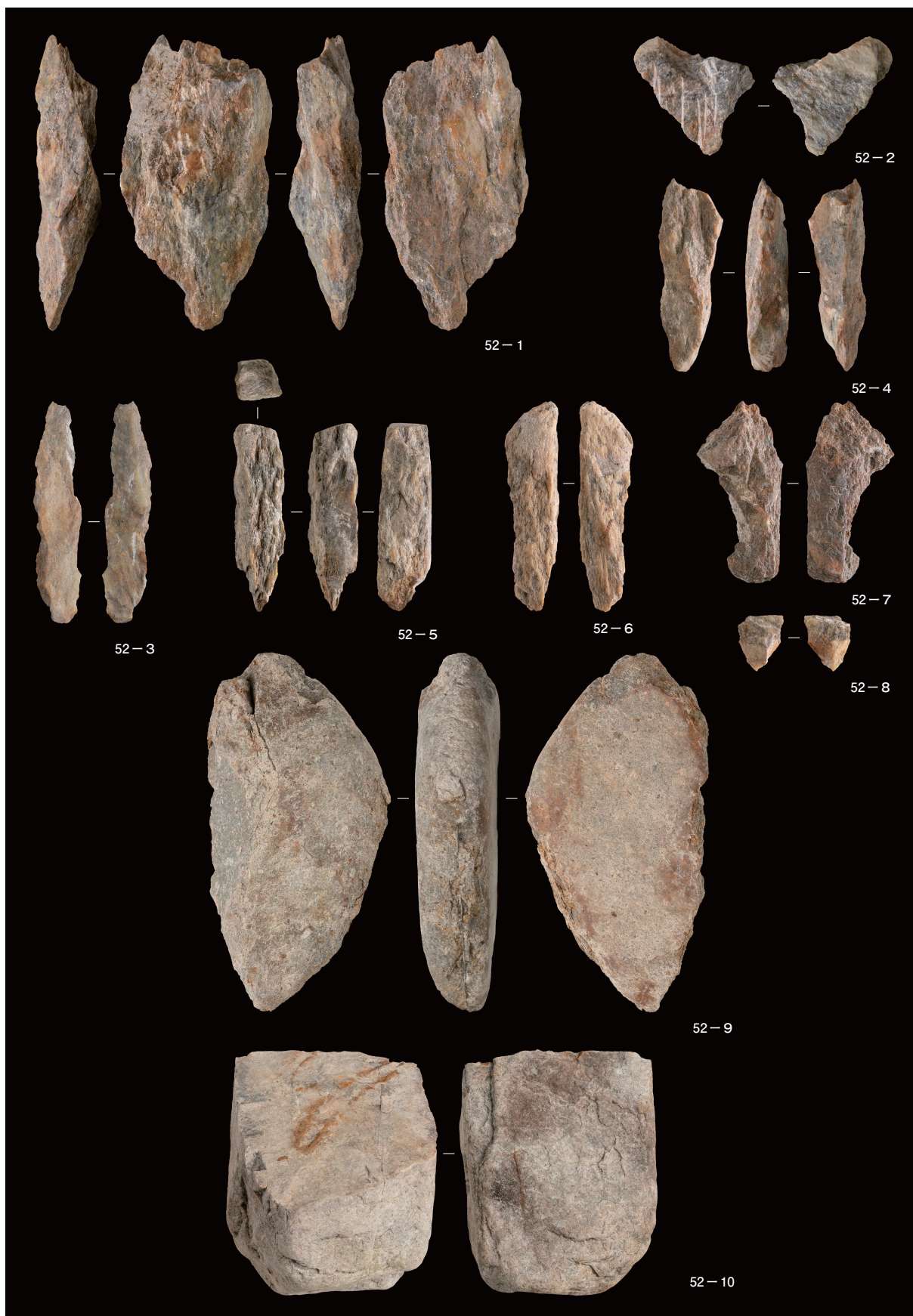
76 4号流路跡出土白玉(3)



77 4号流路跡出土石製品(1)



78 4号流路跡出土石製品（2）



79 4号流路跡出土石製品(3)



80 4号流路跡出土石製品(4)



81 4号流路跡出土石製品（5）



82 4号流路跡出土スサ入り粘土塊・炉壁



83 石製品・石器 (1)



84 石製品・石器（2）



85 4号流路跡出土土師器転用研磨具集合



A類



B類



C類



D類

86 土師器転用研磨具の痕跡パターン



87 石製模造品・白玉の製作関連遺物



88 116-3グリッドLV含有礫



A類



B類



C類



D類

89 本遺跡の出土石製模造品に用いられる石材

報告書抄録

ふりがな	のうさんそんちいきふっこうきばんそうごうせいびじぎょうかんれんいせきちょうさほうこく3							
書名	農山村地域復興基盤総合整備事業関連遺跡調査報告3							
副書名	塚田B遺跡							
シリーズ名	福島県文化財調査報告書							
シリーズ番号	第559集							
編著者名	佐藤 俊							
編集機関	公益財団法人福島県文化振興財団 遺跡調査部							
	〒960-8113 福島県福島市旭町7-7 TEL 024-534-2733							
発行機関	福島県教育委員会							
	〒960-8688 福島県福島市杉妻町2-16 TEL 024-521-1111							
発行年月日	2024年2月9日							
所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号	〃〃	〃〃			
塚田B	福島県南相馬市原町区下太田字塚田	07212	708	37° 36' 35"	140° 59' 11"	20220426 ～ 20220927	990㎡	農山村地域復興基盤総合整備事業に伴う農地整備
所収遺跡名	種類	主な時代		主な遺構		主な遺物	特記事項	
塚田B	集落跡	弥生時代 古墳時代		竪穴住居跡 12軒 土坑 5基 溝跡・流路跡 9条 遺物包含層 1箇所 整地範囲 1箇所 小穴 13基	弥生土器 土師器 須恵製 木製品 石製	4号流路跡からは、古墳時代中期から後期にかけての土師器、石製模造品、白玉が多量に出土した。石製模造品・白玉の未成品、土師器転用研磨具が出土していることから、周辺で石製模造品や白玉の製作を行ったとみられる。		
要約	<p>弥生時代 弥生時中期中葉～後葉、後期、終末期の弥生土器の破片が出土している。弥生土器の中には法仏式の影響を受けたとみられる北陸系土器が1点認められ、弥生時代終末期における浜通り地域と西方との交流を示唆する。</p> <p>古墳時代前期 4軒の住居跡が確認され、牛川沿いの沖積地に小規模な集落が形成された。当該地域では主要河川沿いに集落跡が確認されており、牛川沿いに集落が営まれたとみられる。</p> <p>古墳時代中期・後期 前期と同様の立地に8軒の住居跡が確認され、断続的に集落が形成された。6号住居跡は、石製模造品・白玉の製作に関連した工房跡とみられる。4号流路跡からは、多量の土師器や石製模造品・白玉とその未成品が多く出土しており、水辺や境界における祭祀儀礼、これに伴う飲食儀礼がうかがえる。遺跡内からは石製模造品・白玉とその未成品、土師器転用研磨具など、製作工程の復元ができる良好な資料が多数出土している。</p>							

福島県文化財調査報告書第559集

農山村地域復興基盤総合整備事業関連遺跡調査報告 3

つかだ 塚田 B 遺跡

令和6年2月9日発行

編集	公益財団法人福島県文化振興財団	遺跡調査部	(〒960-8113) 福島県福島市旭町7-7
発行	福島県教育委員会		(〒960-8688) 福島県福島市杉妻町2-16
	公益財団法人福島県文化振興財団		(〒960-8116) 福島県福島市春日町5-54
	福島県農林水産部		(〒960-8670) 福島県福島市杉妻町2-16
印刷	陽光社印刷株式会社		(〒960-0112) 福島県福島市南矢野目萩ノ目裏1-1
